

令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名: あいじつ子ども園
施設所在地: 新宿区北町17番

1-1 活動テーマ『自然』

テーマは『自然』。本園の広場や中庭、テラスなどの身近な自然環境を通して、子どもがわくわくして遊び、夢中になる中で、発見したり、探究したり、表現したりできるような環境を考えていきます。

1-2 テーマ設定理由

子どもたちにとって、自然は身近なものであり普段から自然の不思議さや面白さに気付き、わくわくする姿が見られます。
私たち保育者も自然そのものに魅力を感じるとともに、子どもたちの自然に対する好奇心にも様々な可能性を感じたので、『自然』をテーマに選びました。

2-1 活動スケジュール

- | | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和7年4月 | テーマ・目的・活動内容について話し合い |
| 令和7年6, 7月 | アトリエ活動事例紹介 |
| 令和7年8月 | 講師を招聘し、本園のテーマの共有と具体的な取組の方向性について、ご指導いただいた。 |
| 令和7年9月 | 園庭の自然環境づくりにおいて、職員が「虫」「花」「アトリエ」「ベンチ作り」の4つのグループに分かれて活動を行った。 |
| 令和7年10月 | 講師の指導の下、用務員と5歳児と共にベンチ作りに取り組んだ。 |
| 令和7年12月 | 虫のホテル作り(対象:4歳児クラス)
5歳児が収穫したレモンを、見て、触れて、香りを嗅ぎ、味わうなど諸感覚を通して関わる。その体験を遊びへと発展。 |
| 令和7年1月 | 講師を招聘し、園庭の自然環境について学ぶ(職員) |
| 令和7年2月 | 講師を招聘し、子どもたちと園庭散策(3~5歳児クラス)
講師を招聘し、すくわく1年のまとめと来年に向けて(職員)
講師を招聘し、わくわくする自然環境づくりや保育者の在り方について学ぶ。(対象:2,3歳児クラス) |



3-1 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ベンチ作りでは工具を購入し、保育者と一緒に使用しながらベンチを作成し、園庭で子どもたちが遊びで使えるようにしました。
- ・虫のホテル作りでは、タブレットを使い、冬に虫を呼ぶためにどうしたらよいかなど調べました。

むしがあつまるといいな



4-1 探究活動の実践 活動の内容

- ・ベンチ作りでは工具を、保育者と一緒に使用しながら作成し、やすりをかけたり、ペンキ塗りをしたりしました。出来上がったベンチは、園庭で子どもたちが遊びで使えるようにしました。
- ・虫好きなクラスでは、冬になると虫が少なくなることに気づき、虫はどこにいるのか、どうやったら園庭にむしが来るのかを調べ、虫のホテル作りにつながりました。

ここをやすりで
つるつるにしたよ

4-2 活動中の子供の声、子供同士や保育者との関わり

- ・冬の園庭に虫を呼ぶために調べて、虫のホテルを作ることになり、「家みたいな形にしたい」「部屋を作って虫がはいれるようにしたい」と、イメージを出し合いながら形にしていく過程も楽しんでいました。調べる時はタブレットを保育者と一緒に使ってみました。その後、毎週、虫がきているか確認する姿がみられるようになりました。





講師や用務員と一緒にベンチを
作りました

5-1 振り返り 振り返りによって得た先生の気づき

- ・園庭の自然を保育者がどのように生かせるのか、具体的な方法を知り、環境を整える手立てのヒントを得ることができました。
- ・子どもたちが興味を持ったことに自分自身も興味をもち考え、活動に参加していくことで、より園庭の自然環境に興味をもつきっかけになりました。
- ・子どもたちの「やってみたい」を叶え、どうなるのかを保育者も一緒にわくわくしていきたいと思いました。
- ・具体的な環境設定(子どもたちが調べる、比べる、確かめる場所作り・虫を呼ぶための環境作り、ため池、土山作りなど)を今後すすめていきながら、子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちからでた「やってみたい」を実現していけるようにしていきたいと思いました。